

令和4年度第1回木津川市介護保険事業計画等策定委員会

議事録

開催日時	令和4年7月5日（火） 午後2時00分～午後3時15分
開催場所	木津川市役所5階 全員協議会室
出席者 (委員)	安藤会長、馬副会長、兎本副会長、光井委員、小石委員、内藤委員、谷口委員、久保委員、井上委員、行衛委員、一庵委員、村田委員、木下委員、木原委員、島本委員、山川委員、新井委員、金沢委員
欠席者	岩本委員、大前委員、入江委員
事務局	大西健康福祉部長、前川健康福祉部次長兼高齢介護課長、山口主幹、淺田課長補佐、林係長、木村係長、森川担当係長、岡田主任
議題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第9次木津川市高齢者福祉計画・第8期木津川市介護保険事業計画の進捗状況について (2) 介護保険事業計画の「取組と目標に対する自己評価シート」について (3) 次期計画の予定について
資料	次第 資料 表題 木津川市介護保険事業計画等策定委員会委員名簿 木津川市介護保険事業計画等策定委員会条例 資料1 資料2 配席図

議事の経過	
発言者	発言内容
事務局	<p>定刻になりましたので、只今から令和4年度第1回木津川市介護保険事業計画等策定委員会を開催します。私本日の司会を務めます、高齢介護課の森川です。よろしくお願ひいたします。</p> <p>初めに資格審査ですが、本日の木津川市介護保険事業計画等策定委員会の開催については、策定委員会条例第6条第2項の規定に、「委員会は委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない」となっております。本日、21名の委員のうち、現在17名（遅れて1名出席され、計18名出席）の委員のご出席をいただいていますので、会議が成立していますことをご報告します。</p>
事務局	<p>次第に沿って進めさせていただきます。ご協力のほどよろしくお願ひします。</p> <p>開会にあたり、健康福祉部長の大西よりご挨拶を申し上げます。</p>
健康福祉部長	(部長あいさつ)
事務局	<p>本日は委員委嘱後、初めて皆様にお集まりいただいているので、自己紹介をお願いしたいと思います。安藤会長から順に左回りでお願いいたします。</p> <p>(委員自己紹介・事務局職員自己紹介)</p>
事務局	<p>審議に入ります前に、会長及び副会長の選出についてのご報告をさせていただきます。会長、副会長の選出につきましては、策定委員会条例第5条第1項の規定により、「委員会に会長及び副会長2人を置き、それぞれ委員の互選により定める。」となっております。</p> <p>昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、委員会が書面開催となり、その際、京都西山短期大学客員教授 安藤和彦 委員に会長、木津川市社会福祉協議会会长の 馬泰子 委員と木津川市老人クラブ連合会会长 中島英一 委員に副会長にご就任いただくということで、事務局より推薦させていただきました。</p> <p>その結果、賛成多数となりましたことを、ここにご報告いたします。</p> <p>安藤会長、馬副会長、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>また、副会長をお願いしておりました木津川市老人クラブ連合会会长が4月1日付で交代されましたことから、引き続き後任の 兎本久和 委員に、副会長をお願いすることでご承認いただきたいと存じますが、皆様いかがでしょうか。</p>

	(異議なしの発言)
事務局	“異議なし”との声をいただきましたので、よろしければ、拍手をもって承認とさせていただきます。
事務局	それでは、兎本副会長、どうぞよろしくお願ひいたします。
事務局	安藤会長からご挨拶をお受けしたいと思います。
会長	<p>本日は、令和4年度第1回「木津川市介護保険事業計画等策定委員会」の開催をお願いしましたところ、委員各位におかれましては、大変お忙しいところご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、昨年度は本委員会の開催が書面開催となつたため、新しい委員を迎え、一堂に会しての開催は初めてとなります。2年目を迎えた本計画を見据え、次期計画に向けて、木津川市の高齢者の皆様が安心して暮らし続けられるまちづくりを目指していきたいと思う所存です。</p> <p>本日は、議題としまして「第9次木津川市高齢者福祉計画・第8期木津川市介護保険事業計画の具体的な取組の進捗状況について」などを予定しておりますので、よろしく審議を賜りますようお願い申し上げ、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。</p>
事務局	続きまして議長の選出です。策定委員会条例第6条第1項の規定により、会長が議長となることとなっていますので、以下の議事進行については、安藤会長にお願いしたいと存じます。安藤会長、よろしくお願ひします。
会長	<p>早速ですが議事に入ります。(1) 第9次木津川市高齢者福祉計画・第8期木津川市介護保険事業計画の進捗状況について、(2) 介護保険事業計画の「取組と目標に対する自己評価シート」について、一括で審議したいと思います。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(1) 第9次木津川市高齢者福祉計画、第8期木津川市介護保険事業計画進捗状況について、及び(2) 介護保険事業計画の「取組と目標に対する自己評価シート」について説明
会長	ただいまの説明について、質問等はありませんか。

委員	<p>P. 7 (1) ①生きがい対応型デイサービスについて。</p> <p>介護認定を受けていない方や閉じこもりがちの方が、利用を希望されても、定員オーバーで待機されている等の状況がある。元気アップ体操は参加可能だが、生きがい対応型デイサービスも予防のために、少しでも参加しやすいようにしていただけたらありがたい。</p>
事務局	<p>生きがい対応型元気デイサービスについては、いきいき介護保険 P. 26 のとおり、木津・加茂・山城で 8 教室設置し、3 事業所に事業を依頼している。教室の循環がうまくできていない現状はあるが、申込者にはできる限り参加いただいている。</p> <p>事業所からも地域の皆様に啓発していただいている。教室の循環は、市も課題と考えていて、事業実施に努めたい。</p>
委員	<p>P. 8 (2) ②就労等の支援について。</p> <p>自己評価シートにもあるが、配食サービスのボランティア数が減少していて、ボランティアでは継続が困難である。</p> <p>シルバー人材センターに補助金を出し、委託や保証することで、高齢者の就労支援にもなり、ボランティアの継続に繋がるのではないか。</p>
事務局	<p>配食サービス事業において、ボランティアの数が減少しているという現状はある。</p> <p>配食サービス事業は、社会福祉協議会と市が連携し、ボランティアの方に実施いただいており、シルバー人材センターでの雇用・委託となると、配食サービス事業の主旨の相違、問題が発生する可能性があり、事業内容の変更が必要と考える。</p> <p>各協議会でもボランティア増加の取組みに努力されており、市も協力しながら見守りたいと考えている。</p>
委員	<p>P. 10 (1) ⑤介護サービスの提供について。</p> <p>就職フェアの年 1 回の実施について、介護職の募集という点ではよい PR であるが、様々な思いで介護職となつた方が、離職されたり辛い経験をされることもある。</p> <p>教師の疲弊を避けるために、学校外で相談を受けるカウンセラーの存在を伺った。働き手や高齢者を守るために、施設に関係ないところで悩みを相談できる場があれば、気持ちを変えることができると考えるが、そのような取組みは。</p>
事務局	<p>就職フェアは、年に 1 回開催予定で、今年も秋に予定している。</p> <p>介護職の方自身の相談場所については、市に相談いただければ、相談機関と連携し、個別または事業所でのカウンセリング実施に繋げていくことができると考えている。</p>

委員	<p>P. 10 (1) ⑥相談・情報提供体制強化、重層的相談支援について。 具体的にはどのような取組か。</p> <p>ケアマネジャーは、現場で引きこもりやヤングケアラーの問題に接することがある。せっかく繋がっても、相談がとぎれたり、ケアマネジャーが相談できる場がわからない等の問題がある。ケアマネジャーを守るためにも、介護者、ヤングケアラー等の生きづらさ等、問題改善に取り組んでいただきたい。</p>
事務局	<p>現在は、ひとつの相談窓口だけでは対応できないような、複雑な課題が存在する。今年度から市健康福祉部4課で協力し、例えばひきこもりについてはくらしサポート課で相談し、高齢者の課題があれば高齢介護課で相談を受ける等、制度の狭間に落ちないよう、各課窓口で連携を行う。また、専門知識を持っている事業所など関係機関とも連携を広め、様々な角度から支援を行い、支援が必要な方を取りこぼさないような支援体制を構築しているところである。</p> <p>最終的には、国が実施している重層的整備体制支援事業に移行したいと考えております、今は相談体制の充実を図る過渡期である。</p> <p>相談は断らないとしており、各課に相談いただきたい。</p>
委員	<p>P. 10 (2) ②認知症の早期発見・早期対応について。</p> <p>若年性認知症の方への支援、サービスが少ない。市にも支援に繋げるためのコーディネータ等がいれば、ケアマネジャーも相談しやすい。認知症の相談先である地域包括支援センターにも専門的な相談の場があればよい。</p>
事務局	<p>若年性認知症の方への支援は、市、地域包括支援センター、認知症サポートセンターとも連携しながら、当事者に合った支援を行っている。就労も関係するので、本人の意思を尊重しながら進めている。</p> <p>対応件数は、市は少なく、ケアマネジャーの方が多いと想定する。</p> <p>何かあれば、相談いただきたい。</p>
委員	<p>配食サービスについては、サービスを受ける方の人数が増えていて、安否確認の目的もあり、とても有意義な事業であると思う。</p> <p>配食サービスを利用されている方の、介護度別の利用者の内訳は。</p> <p>また、要介護や重度の方は、デイサービス等で安否確認ができると想定するので、認定を受けてない方の安否確認など、軽度の方の見守り体制がさらに整えば、家族だけでなく、高齢者が地域の方と繋がる良い事業であると考える。</p>
事務局	配食サービスを受けている方の介護度別のデータは持ち合わせていない。必要な

	<p>方に対しアセスメントを行い、配食サービスを利用いただいている。</p> <p>重度の方は、介護サービスを利用されているが、見守りだけでなく、生活としての「食べる」という意味合いもあり、軽度者に重点的に行うのは難しい。</p>
副会長	<p>社会福祉協議会として、市から委託を受け、配食サービスを行っている。</p> <p>先般、配食時に、熱中症で倒れている現場に立ち会ったこともあり、見守りの重要性を感じている。ボランティアの高齢化や減少など、継続の心配もあるが、社会福祉協議会もHPや広報誌等でボランティア募集を呼び掛けている。</p> <p>シルバー人材センターの活用も良いが、調理をされている方の思いも強く、できれば地域ぐるみで対応し、地域で守るという意識、地域で繋がるという考えである。</p> <p>地域の繋がりもできていて、今後も市と協力して実施していきたい。</p>
委員	<p>資料1 P.12(5)について、配布資料には具体的な言及がないが、計画書本体においては、コロナ禍で外出自粛となり、フレイルが増加する傾向であるとの記載がある。現時点での行政の考え方、認識、対策を伺いたい。</p>
事務局	<p>R 元年度末以降、コロナ禍で閉じこもりがちになられたり、家で運動しても外出できないということから、運動機能の低下がみられる。</p> <p>今年度になって、外出や運動教室にも通われるようになってきているが、フレイル予防には、低下した機能を徐々に改善したり、現存する機能の維持が大事であると考えている。</p> <p>在宅で現状がわかりにくい方に対し、各地域包括支援センターがアンケートを実施し、結果に基づいて訪問するなど、その方にあったサービスに繋げている。</p> <p>市でも国保年金課、健康推進課、高齢介護課が連携し、保健事業と予防事業の一体化ということで、通いの場に来ている方や健康状態がわかりにくい方にアプローチして、予防支援を実施している。</p> <p>今後のフレイル予防は、運動だけでなく認知機能も低下しないよう、自立支援に向けたサービス、事業に力を入れていきたい。</p>
委員	<p>資料2について、取組の自己評価を公表するとして説明があり、6/22に既にHPで公表されている。今回、委員会では、資料2は報告として受け取っていいのか。</p> <p>様式についても、自己評価の内容が一目でわかるよう、○、△、×などで標記されている自治体もある。文章で記載されているが、自己評価として見えづらい。</p>
事務局	<p>資料2は報告とさせていただきたい。様式や項目は国指定のものであるが、カスタマイズ可能であるので、見やすさ等については今後工夫したい。</p>

委員	<p>計画書本体冊子をお持ちでない委員の方がいるように見受けられる。計画書本体を見る中で、進捗を確認し、審議することとなる。</p> <p>予備があるなら配布すべきではなかつたか。</p>
事務局	<p>計画書作成時、また新たに委員委嘱した際に配布しており、予備もいくつか準備はしていたが、本日の会議資料としての持参の連絡が不十分だった。</p>
委員	<p>P. 9 に数値目標の記載があるが、R3 実績値が R4 目標値を既に上回っている。</p> <p>R4 の目標値が R3 実績値を踏まえていないのは、コロナで先を見通せないからか。</p>
事務局	<p>計画策定時に、3 年間の目標値を設定しているものである。</p>
委員	<p>認知症の施策について。認知症は、診断されにくく、サービスにつながりにくい。地域包括支援センターで相談を受け、寄り添いながら家族と相談し、支援に繋げているとは思うが、地域包括支援センターへの相談件数は多い状況がある。認知症のサービスにつなげる支援として、リンクワーカーの体制をとるのはどうか。</p>
事務局	<p>認知症の方への支援については、現状は地域包括支援センターの職員が寄り添いながら支援している。また、初期集中支援チーム員会議も毎月開催し、医療に結びつかない方々、事例等から、専門職が支援につなげている状況である。</p> <p>リンクワーカーの機能向上については、今後考えていきたい。</p>
会長	<p>続いて（3）次期計画の予定について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>次期計画の策定に向け、アンケート調査と、次期計画策定の業務支援を委託する業者選定を行い、9 月までに業者を決定する予定です。</p> <p>業者決定後、アンケート調査は年内には配布・回収したいと考えています。</p> <p>アンケート内容については、国が提示する「日常生活圏域ニーズ調査」を基本としながら、当委員会において、その内容を確認、審議していただく予定です。</p> <p>例年、7 月中に国から都道府県に説明会、都道府県から市町村への説明会は 8 月以降となっており、その内容を踏まえて、委員会を開催したいと考えており、次回委員会の開催時期については、10 月下旬から 11 月上旬頃を予定しています。</p> <p>来年度は、このアンケート調査の結果を基に次期計画の策定を進めていくことになり、5～6 回程度の開催を予定していますので、よろしくお願いします。</p>

会長	ただいまの説明について、質問等ありましたら発言をお願いします。
委員	(発言なし)
会長	<p>次期計画についてであるが、それより先のことを心配している。</p> <p>2025年は段階の世代が75歳以上になるというだけの話。2065年には、超々高齢化社会が到来するというデータが、もう出ている。</p> <p>2065年には、木津川市に高齢者は何人いるのか。現在20歳過ぎの方が65歳以上となってくるのがその時期である。高齢者を支える人口が、将来どれだけ出てくるのか。特殊出生率1.4、R3は1.3とされており、さらに厳しくなってくる。</p> <p>将来、働く世代と支える世代が1:1となる。65歳以上で働く人は、働く時代になるのではないか。そういうこと見据える必要がある。高齢者が増え、人口が減ってく、誰が支えるのか、今20歳の人が何人いて、支える人は何人なのか、それらを踏まえて、この計画を積み上げていく必要があると考える。</p>
会長	全体を通じて、質問等ありませんか。
委員	(質疑なし)
会長	<p>これにて、本日の議事はすべて終了しました。委員の皆様におかれましては、長時間にわたりありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、議長を退任し、事務局と交代させていただきます。</p>
事務局	<p>議長におかれましては、議事進行ありがとうございました。また委員の皆様には、慎重なご審議を賜り、ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和4年度第1回木津川市介護保険事業計画等策定委員会を閉会いたします。</p> <p>委員の皆様には、大変お忙しいところ長時間にわたりありがとうございました。</p> <p>(終了)</p>